

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2014年6月19日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

共同のとりくみをさらに広げ

社会保障の拡充を！

## 6.14 北海道社保協総会・記念講演「北海道政と社会保障」



6月14日、北海道社保協の第21回総会と記念講演が行われ、全道各地から約60名が参加しました。

### 好評だった「真下講演」

総会に先って、記念講演が行われました。今回は、来春にいつせい地方選挙を迫っているため、真下紀子道議会議員から「北海道政と社会保障」と題しての講演で、とても好評

でした。高橋はるみ道政の12年間は、基本的には、国の言いなりで「批判なき伴走者」であり、道民の命と暮らしを脅かす社会保障の「切り捨ての急先鋒」であることを事例も紹介して批判しました。一方で、議会活動や住民の運動などで前進を作ったことにも触れ、社会保障の充実が北海道の仕事であることを強調しました。

### 昨年の活動の教訓を踏まえ、今年の活動方針・大橋会長をはじめ役員体制を決定

一方、総会では、昨年1年間の活動の特徴をまとめ、今年の活動の重点を確認しあいました。悪政によって「生きていけない」状況が広がるもと、生活保護や年金の不服審査請求や介護制度の改悪をやめさせる取り組みなどを通じて、当事者が先頭に立ち、多くの人たちや団体と共同したたたかいが広がったことなどを確信に、今年は、「市町村と一緒に、誰もが暮らし続けられる自治体、地域づくりをめざす」など4つの活動の重点を確認しあいました。総会には、中央社保協や北海道保険医会などからメッセージが寄せられ、決算や予算も確認し、大橋晃会長をはじめ新しい役員体制も決定しました。

## 地域社保協・団体からの多彩な報告で、活動交流



総会では、地域社保協や団体(12人)から多彩な活動が報告され、交流しました。

新卒看護師の過労死事件、介護労働者の劣悪な労働実態、消費税8%増税後の中小企業の実態、障害者の実態など深刻な状況が報告されました。札幌豊平社保協では6月29日、はじめてのSOS相談会を計画しています。

旭川で「子育て支援の会」を作り、就学援助や子ども医療費の一部負担増に反対する取り組み(署名:10833筆)、北見で「国保を良くする会」を作り保険料引き下げの取り組み(署名:11600筆)などの共同の取り組み、釧路管内での介護保険改悪、保医連の子ども子育て支援計画づくりへの働きかけ、函館市「生活保護適正化ホットライン」の中止を求める取り組みが報告され、西胆振社保協から、今年10月19日の社保学校in室蘭のお誘いもありました。

開会・閉会のあいさつでは、今年行う予定の生活保護裁判の協力要請もされました。

### 主な発言のテーマと報告組織

- 「旭川の子育て支援の会の活動」(旭川社保協)
- 「新しい保育制度をめざして」(保育連)
- 「介護労働者の実態とたたかい」(福祉保育労)
- 「北見市の国保を良くする会」(オホーツク勤医協)
- 「札幌豊平社保協の取り組み」
- 「介護保険の改悪と市町村への働きかけ」(釧路社保協)
- 「新卒看護師の過労死と防止」(いの健センター)
- 「社保学校in室蘭のお誘い」(西胆振社保協)
- 「障害者をめぐる状況」(精神障害者を支援する活動)
- 「消費税8%増税と中小企業への影響」(北商連)
- 「札幌白石社保協の活動」
- 「生活保護適正化ホットライン中止を」(函館社保協)